



平成 29 年度 歴楽講座 第 3 回



下総城郭の歴史と謎(Ⅱ)

主催：手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会

日本に 4 万～5 万あったという城館の多くを占める戦国時代の城郭。いつ誰が築いたかなど、詳しいことが不明な城跡も多いです。前回、城跡の見方の概略と千葉氏の室町以前の城館、馬加系千葉氏の城である平山城、本佐倉城、さらに佐倉城について見てきました。今回は享徳の大乱と下総の城、太田氏・武蔵千葉氏、後に上杉謙信からの攻撃に耐えた臼井城、二つの生実城、小金城など高城氏の城の俗説と真相、謎の手賀原氏の城など下総の中世城郭の歴史と謎に迫ります。



左…臼井城跡にたつ太田図書館の墓
右…手賀城跡



日時 2017 年 7 月 30 日 (日) 13 時開場、13 時半～15 時半



場所 柏中央公民館・4F 集会室 1・2
柏市柏 5 丁目 8 番 12 号 (教育福祉会館内) ～柏駅東口より徒歩 10 分



講師 当会より



参加費 会員：100 円、一般：300 円 (資料代込み)



その他 申込不要。会場に隣接して駐車場はありますが、有料です。



問い合わせ メール：info@matsugasaki-jo.net または
Tel. 090-3579-5185 (森)
(平日のお問合せは 18 時以降にお願いいたします)

(C) 手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会